令和７年度入学生　滋賀短期大学の３つのポリシー

本学教学の基本方針		
本学は、心技一如の建学の精神のもとに築きあげてきた実学教育の伝統を踏まえ、デジタル化が進む社会にも適切に対応する専門的能力と汎用的能力をもった人材を育成します。		
学修成果		
本学の卒業生は、幅広い教養をもとに専門知識・技能・情報リテラシーにもとづく問題提起・解決能力、表現力、コミュニケーション力、を獲得し、深い人間性と高い倫理観をもって広く地域及び社会に貢献できる能力を有します。		
ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
卒業時点において、以下の観点から、各学科・コースの目的に沿った専門知識と、それを有効に活かすための技能、さらにそれらの基礎になる人間力をもっていることを求めます。 【専門知識と教養】 各学科・コースが掲げる専門知識だけではなく、それを支える広い視野をもつために、幅広い教養と情報リテラシーが身についていること。 【専門性を活かす技能】 専門知識を理解したうえで、それを使いこなせる技能と、それを応用する実践能力が身についていること。 【問題提起・解決能力】 知識と技能を習得したうえで、専門分野にかかわる課題の所在やその分析の方法を総合的に考え、適切に判断して問題の解決にみちびく能力が身についていること。 【表現力・コミュニケーション力】 問題提起から分析を経て解決に至る過程と、その成果を効果的にアピールするための表現能力が身についていること。また豊かな人間性をもって人と人との円滑なコミュニケーションを実現する力が身についていること。	本学では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、2 学科に共通のカリキュラム編成の方針を掲げると同時に、それぞれの学科・コースが、特色をもった教育カリキュラムを展開しています。 また丁寧でわかりやすい授業をおこない、学生の理解度を高める「学修者本位の教育」の実現を目指しています。 【カリキュラムの編成】 専門科目と一般教養科目をバランスよく配置し、2 年間のすべての授業が有機的に連携して機能するよう、系統的なカリキュラムを編成しています。 【アクティブラーニングの充実】 アクティブラーニングを積極的に取り入れ、学生と教員、あるいは学生同士が向き合う授業を行っています。 【情報リテラシー、データサイエンス（リテラシーレベル）の教育の推進】 全学でデジタル社会に対応できる教育を推進します。ノートパソコンを必携し、デジタル機器やオンラインを活用した教育を行うとともに、2 学科すべてで、IT リテラシーとデータサイエンスの基礎を修得するようにします。 【教育の質保証】 専門科目はできるだけ少人数教育ができるよう、同一科目でも複数クラスを置くなどの措置を講じています。また教育の質を高めるために、各教員が授業改善し、個別の学生の学力や志望に応じた支援プログラムを制度的に確立しています。授業改善のためには学生の評価も積極的に導入し、その結果をフィードバックし改善につなげます。 【実習科目の充実】 実践に強い資質を身につけるために、実習科目を重視したカリキュラムを編成しています。資格・免許にかかわる学外実習科目については、十分な事前・事後指導を行い、実効性の高い実習ができるようにしています。 【キャリア教育の充実】 キャリア教育についても、独自の科目を配置し、入学から就職まで、社会人として基本的な資質を身につける教育を行います。インターンシップもキャリア教育の一環として、積極的に推奨及びサポートしています。	本学は、選択された学科・コースをなぜ志望したか、何を学びたいか、将来どのような分野で活躍したいかが明確で、学ぶ意欲を強くもつ人を求めます。 学力の三要素の観点から、次のような資質・能力を求めます。 【知識・技能】 高等学校までの教育課程における基礎的な学力を身につけていること、とくに国語において基本的な読む力と書く力をもっていること。 【思考力・判断力・表現力等】 自分で論理的に考えることができ、集団において自分の意見を表現し、課題について議論できるコミュニケーション力をもっていること。 【主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学修する態度】 与えられた学修に加えて、自分から学ぼうとする意欲をもって学修し、その成果を、将来社会人として活かしていこうという意志をもっていること。 このアドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れるため、入学者選抜において、高等学校及び本人からの提出書類、面接、筆記試験などを複合的に活用し、学力の三要素を多面的・総合的に評価します。 学力の三要素（求める学生像）と入学者選抜における「評価方法」の関係は別表に示すとおりです。